

市政記者 各位

都市政策課長

OECD（経済協力開発機構）国際会議（「高齢社会における持続可能な都市政策」報告書発表イベント）への富山市長の出席について（ご案内）

昨日（現地時間4月30日午前11時から）、フランス共和国・パリ市で開催された国際会議（「高齢社会における持続可能な都市政策」報告書発表イベント）において、森富山市長が、およそ100名のOECD加盟国、非加盟国の代表や関係者に対し、富山市のコンパクトシティ政策について、意見発表を行いましたので、お知らせします。

OECDでは、平成25年度より2カ年に渡り、「高齢社会における持続可能な都市政策」プロジェクトにおいて、高齢社会における各都市の対応や先進的な取り組みから、高齢化の動向や課題の対応に関して調査をされてきました。

富山市は、本プロジェクトにおいて、ケーススタディ都市（他、横浜市、リスボン、カルガリー、ブルノ、マンチェスター、フィラデルフィア、ヘルシンキ、ケルン）として取り上げられており、また昨年10月には本プロジェクトの一環として、富山市とOECDが共催で「都市の国際ラウンドテーブル～高齢社会におけるレジエントな都市～」を富山市において開催したところであります。

今回、OECDは「高齢社会における持続可能な都市政策」プロジェクトの調査結果を報告書として取りまとめ、発表する国際会議を開催されました。森市長は、本会議において、報告書へのコメントやこれまで推進してきた本市の取り組みについて発表を行いました。

高齢社会に対応した本市のコンパクトシティ政策を広く世界に発信できたことは非常に光栄であると思っております。

（参考）

「都市における高齢化」報告書発表（OECD東京センター <http://www.oecd.org/tokyo/>)
http://www.oecd.org/tokyo/newsroom/documents/20150430AgingInCities_overview_JP.pdf

※会議の様子は別添のとおりです。

なお、写真データ（CD及びUSB）を提供いたします。市政記者室ホワイトボード下に置きますので、必要な社・局はご利用ください。（持出禁止）

（担当）都市政策課企画係（内線2916）

